

2013年7月2日
東京製鐵株式会社

新規格製造販売開始のお知らせ

当社は、溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材（JIS G 3114）のうち、SMA400AP・BP・CP の3鋼種の認証を、岡山工場で取得しましたので、2013年7月より新たに製造販売を開始します。

本規格（JIS G 3114）は、構造物に用いる溶接性を考慮した耐候性熱間圧延鋼材であり、耐候性鋼橋梁にも採用されている規格です。

今回、認証を取得した SMA400AP・BP・CP は、塗装することを前提とした鋼種で、通常の SS400、SM400A などに比べ、Cu・Cr を規定することによって耐候性能を高めたものです。

エキストラ価格は、SMA400AP＝＋¥3,000、BP＝＋¥4,000、CP＝＋¥5,000（いずれも SS400 比）と、従来の同規格に比べて大幅に抑えました。これは電炉メーカーとしてスクラップ中の成分を有効活用する技術を活かした結果です。

今回、岡山工場の H 形鋼と溝形鋼、I 形鋼で本規格の認証を取得したので、太陽光発電の架台などに積極的に採用を働きかけていく予定です。

添付の対象サイズ表をご確認ください。

以上.

溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材 (JIS G 3114)

SMA 400AP・BP

対象サイズ

H形鋼	H100x50x5/7 H100x100x6/8 H125x60x6/8 H125x125x6.5/9 H150x75x5/7 H148x100x6/9 H150x150x7/10 H175x90x5/8 H175x175x7.5/11 H198x99x4.5/7 H200x100x5.5/8 H194x150x6/9 H200x200x8/12 H248x124x5/8 H250x125x6/9 H244x175x7/11 H298x149x5.5/8 H300x150x6.5/9 H346x174x6/9 H350x175x7/11
溝形鋼	C100x50x5 C125x65x6 C150x75x6.5 C180x75x7 C200x80x7.5
I形鋼	I100x75x5 I125x75x5.5 I150x75x5.5 I180x100x6 I200x100x7